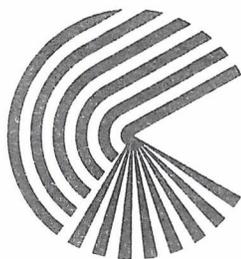


第1回
メセナ大賞
1991

MECENAT AWARDS 1991



Association for Corporate Support of the Arts
社団法人 企業メセナ協議会

ごあいさつ

今日ここに、企業メセナ協議会によるわが国初のメセナ大賞の授賞式を行う運びになりました。過去一年にわたってとくに優れた芸術文化支援を行った9社の企業にメセナ賞をおくり、それらの企業のなかからさらに1991年度の大賞、特別賞を決定いたします。

受賞される企業各位に心からお祝いを申し上げますとともに、公平かつ真摯に選考を重ねてくださった審査委員の皆様、調査に当たられた関係者の方々のご努力に深く感謝申し上げます。

企業メセナ協議会が発足したのは1990年2月、「文化の時代」を待望する世論をバックに協議会はわずかな歳月のうちに大きく成長し、現在加盟正会員179社、準会員32団体を数えるにいたりました。メセナ大賞は、「文化を利用する」のではなく「文化に奉仕する」企業の文化活動を顕彰し、健全かつ有益な文化支援がいつそう増え、充実することを念願して創設されたユニークな賞です。しかし何分にもはじめての試みであり、果してどれだけの企業が自薦・他薦を含めて参加してくださるだろうかと心配いたしました。しかしこうした懸念は全くの杞憂に終わり、270を超えるプロジェクト(応募企業・企業財団数、約160)が全国から集まり、白熱した審査が行われるという予想を上回る成果を得ました。今日、晴れの受賞に輝く企業の事例はいずれも優劣をつけがたい創意あふれる企画であったと聞いております。選考過程を通じて、全国各地で多様、かつ積極的なメセナ活動がくりひろげられつつあることもわかり、私どもはメセナ運動をより深くより広く推進して行く覚悟を新たにしました次第です。

メセナ大賞は年度賞として、今後も毎年、授賞を続けてまいります。芸術文化の向上に深い関心を寄せる皆様のご支援とご協力によって、この賞が大きく育ってゆくことを祈念して私のごあいさつとさせていただきます。

社団法人 企業メセナ協議会 会長

新木 次雄

社団法人企業メセナ協議会
メセナ大賞 1991

メセナ賞入賞企業

五十音順

- 1) 株式会社 I N A X
本社 愛知県常滑市鯉江本町5-1
- 2) 岩谷産業 株式会社
本社 大阪市中央区本町3-4-8
- 3) オムロン 株式会社
本社 京都市下京区烏丸通七条下ル
- 4) コニカ 株式会社
本社 新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル
- 5) 新日本製鐵 株式会社
本社 千代田区大手町2-6-3
- 6) セイコーエプソン 株式会社
本社 長野県諏訪市大和3-3-5
- 7) トヨタ自動車 株式会社
本社 愛知県豊田市トヨタ町1
- 8) 林原グループ
林原 本社 岡山市下石井1-2-3
- 9) モービル石油 株式会社
本社 千代田区大手町1-7-2 サンケイビル新館

メセナ大賞

林原グループ

メセナ特別賞

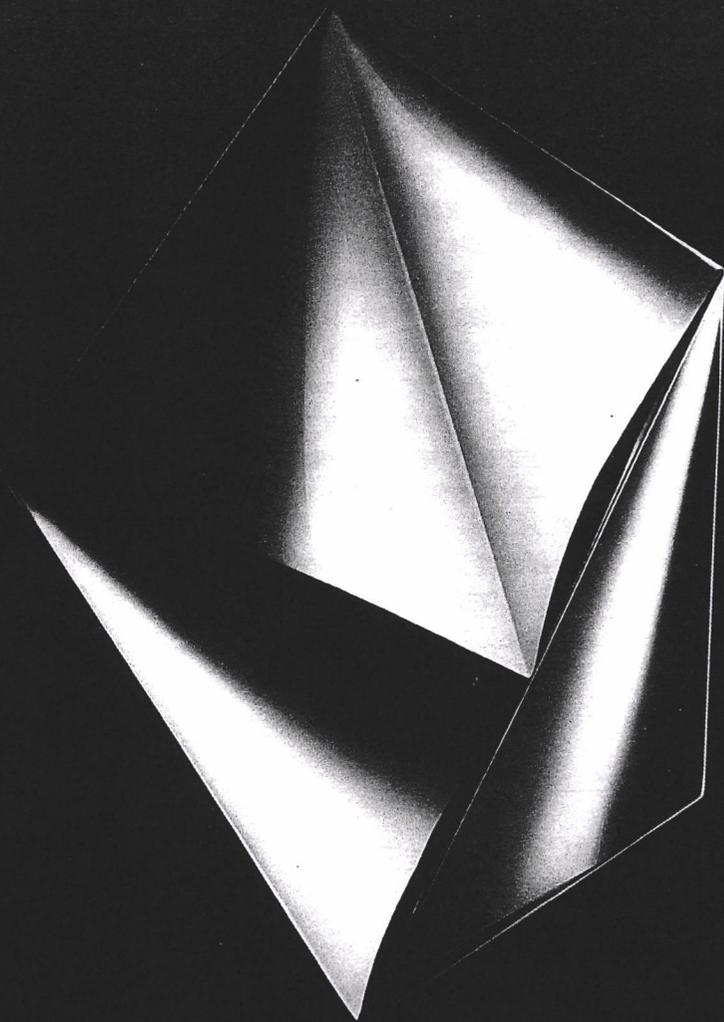
五十音順

株式会社 I N A X

コニカ 株式会社

新日本製鐵 株式会社

MECENAT AWARDS 1991



多田美波 (Minami Tada) 制作

彫刻家。〔最近の主な作品〕東京都芸術劇場にレリーフ「調」。東京都新都庁舎に彫刻「滯」。埼玉県上尾市新市庁舎に吊彫刻「光彩」を制作〔主な受賞〕日本芸術大賞。ヘンリー・ムーア大賞。芸術選奨文部大臣賞。紫綬褒賞など。

メセナ大賞とは

わが国に所在する企業および企業財団によって1990年度(1990年4月1日～1991年3月31日)に行われたメセナ(芸術文化支援)活動のうちで、社会的、文化的に高い貢献を行った企業にメセナ賞をおくり、さらにその中から、メセナ大賞、メセナ特別賞を選定いたします。

この授賞が、企業メセナについて企業や芸術側だけでなく世論の皆様にも広くご理解いただき、関心を深めていただくための契機となれば幸いです。

審査委員

(敬称略・五十音順)

石井 幹子	照明デザイナー
大島 清次	世田谷区立世田谷美術館館長
三枝 成彰	作曲家
佐々木忠次	(財)日本舞台芸術振興会専務理事
高野 悦子	岩波ホール総支配人
藤森 照信	都市建築家、東京大学助教授
宮崎 勇	大和総研(株)理事長
山崎 正和	劇作家、大阪大学教授
福原 義春	(社)企業メセナ協議会理事長

選考の経過

応募数は、自薦・他薦を含め、270事業、約160企業および企業財団にもものほりました。全国から応募いただいた書類や貴重な資料の数々を拝見しますと、支援対象の芸術文化も、多種多様で、全国で意欲的な活動がくりひろげられていることが分かりました。選考過程では、メセナの理念・哲学をどう打ち立てるか、具体的にどういう形が理想的メセナなのか、望ましくないメセナとはどういう形か、善し悪しの判断の基準は何かなど、くり返し熱心に討議されました。審査委員の方々からも「これほど多岐にわたる活発な意見が出た審査会はめったにない」というご感想をいただいた次第です。

大賞、特別賞の表彰もおこないますが、メセナ賞に入賞された9社の活動は、実はほとんど甲乙つけがたいものでした。大賞その他の選出は今後、日本型メセナを盛り上げていく上で、指針を示す具体例として選ばせていただきました。これを機に経済界と芸術界の良きパートナーシップがさらに深まり、よりいっそう素晴らしいメセナ活動が展開され、芸術文化が振興されますことを祈念いたします。

第1回 メセナ大賞授賞式

日時：1991年12月16日(月) 14:00～15:30

会場：草月会館(草月ホール)
東京都港区赤坂7-2-21

主催：社団法人 企業メセナ協議会

プログラム

司会進行 石尾和子

14:00 オープニング

開会のあいさつ……………鈴木治雄 (社)企業メセナ協議会会長

来賓祝辞

14:10 音楽演奏……………ハープとフルート演奏

〈曲目〉

- J.S.バッハ / ソナタ変ホ長調 BWV 1031
- G.フォーレ / 幻想曲
- C.サン＝サーンス / ロマン
- ドップラー＝ザマラ / ガジルダ幻想曲 吉野直子(ハープ) 佐久間由美子(フルート)



14:40 小休憩

14:45 受賞企業表彰

選考経過報告……………根本長兵衛 (社)企業メセナ協議会専務理事

入賞企業発表・表彰

特別賞発表・表彰

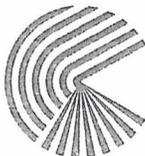
メセナ大賞発表・表彰

審査委員会から……………宮崎勇 (大和総研(株)) 理事長

15:30 エンディング

閉会のあいさつ……………福原義春 (社)企業メセナ協議会理事長

●閉会后 草月会館2階にて、記念レセプションを開催いたします。



Association for Corporate Support of the Arts

メセナ大賞
1991

メセナ賞入賞企業

株式会社 INAX
INAX Corporation

岩谷産業 株式会社
Iwatani International Corporation

オムロン 株式会社
Omron Corporation

コニカ株式会社
Konica Corporation

新日本製鐵 株式会社
Nippon Steel Corporation

セイコーエプソン 株式会社
Seiko Epson Corporation

トヨタ自動車 株式会社
Toyota Motor Corporation

林原グループ
Hayashibara Group

モービル石油 株式会社
Mobil Sekiyu Kabushiki kaisha

(五十音順)

株式会社 INAX

INAX Corporation

生活文化創造企業としてのメセナをめざして

INAXは、生活文化に関わりの深い企業で、事業そのものを生活文化創造業として捉えています。企業の活動を通じて、日本の文化基盤の育成を考えていく。そして、社員自身の文化度を高め、真の生活創造企業へと発展を続けています。したがって、文化活動の企画、運営は、社員が中心となり主体となる、独自のすすめ方です。

このINAXのメセナ活動は、1981年に社会性・文化性を強調したコーポレート・コミュニケーションの場として、オープンした銀座ショールームの2つのギャラリーが、スタートになります。

多領域にわたる文化活動を推進

2つのギャラリーのうち「ギャラリー1」。ここは、企業ギャラリーの草分け的な存在といえます。建築文化に関するテーマ企画展を3カ月単位で実施し、毎回84頁のブックレットも発行。その数もすでに50回を数えています。そして「ギャラリー2」では、コンテンポラリーアートの企画展を中心に展開。1990年には、100回を数え、「80年代美術100のかたち」も出版しました。101回からは、現代美術の新人のためのギャラリーという新しいコンセプトを打ち出し、国内外や年齢を問わずに作品を公募し、審査するという方式にシフトしています。

さらに「名古屋ギャラリー」でも、インダストリアルデザインをテーマに、講演会の開催と共にブックレットを発行しています。そして「大阪ギャラリー」の推進。メセナ活動の範囲は全国規模で、広島、札幌などの地域密着の展開を続けています。

一方、文化講演活動の事業でも全国9カ所での「人・間・空・間セミナー」を開催。毎月1回社会人のための講座「INAX アートスクール」も開催しています。

また日本国内だけにとどまらず、「INAX DESIGN PRIZE」は、広く海外へ向けた文化活動です。1989年にスタートした、この顕賞事業は、海外デザイナーの作品応募のなかから、毎年4名の受賞者を選定。INAX本社の工房で、日本のクラフトマンと交流しながら創作活動を行ない、生活体験を共にするというユニークなものです。

岩谷産業株式会社

Iwatani International Corporation

音楽、この無形の文化遺産を21世紀へ

“モノ”の提供者としての枠を越え、音楽という“心の文化”の提供者として、時代の要請でもある心のゆとり、心の豊かさを感じられる生活文化の実現に貢献したい。そして、全国300万世帯の家庭にLPガスを供給するという極めて公共性の高い事業部門をもつ企業として地域社会に密着した、しかも地域文化に貢献する活動の一環として、広く社会に対して21世紀へ残すことのできる無形の文化遺産を提供していきたい。これが岩谷産業の企業文化活動の根幹にある考え方です。

民謡をユニバーサルなクラシックにする、ふるさと交響楽

岩谷産業では“クラシック音楽を通じてわが国の音楽芸術の向上発展を図る”という、NHK交響楽団の事業目的に賛同し、1987年7月以来多面的な事業協力を進めています。その事業協力のひとつが、〈日本民謡によるシンフォニック・スケッチ～N響ふるさとシリーズ～「ふるさと交響楽」〉づくりです。これは、日本各地のすぐれた民謡や独自の風土を素材に、一流作曲家に編・作曲を委嘱し、シリーズとして創作活動を推進していくものです。現在、1988年の“江差”(北海道)から今年の“陸前の海”(東北)まで4年間で12曲が完成しており、NHK交響楽団によって初演されるとともに、各地での定期演奏会ではアンコール曲としても採用されています。なお、この「ふるさと交響楽」づくりは、日本文化とヨーロッパ発祥のクラシック音楽を融合させるという全く新しい試みとしても注目を浴びています。このシリーズは、最終的には各都道府県に1曲ずつの“ふるさと交響楽”ができるまで続けていく予定です。さらに、創業60周年を迎えた1990年度においては、ひとつの区切りとして、全国各地でのN響による「イワタニ・ライフアップコンサート」、大阪センテリヤ交響楽団による創業60周年記念式典での「祝典曲」演奏、中国・大連での遼寧楽団による「中日友好文化交流コンサート」を開催するなど、主に音楽部門でのメセナ活動を年間を通じて展開しています。

オムロン株式会社

Omron Corporation

企業理念と企業市民憲章を礎に

オムロンの経営の根幹は、1959年に制定された“われわれの働きでわれわれの生活を向上しよりよい社会をつくりましょう”という、社憲(企業理念)です。

この社憲は、企業市民として人類・社会の向上発展に貢献することをうたったもので、人間主体の経営を推進しようというものです。またオムロンには、直接的な社会貢献を「社会公器性」として、人間尊重の基本に立ちかえり、人を中心とした社会・会社のあり方を、企業理念の実践を通して追求する「企業市民憲章」があります。

この憲章の原則は、オリジナリティと継続性、行動力と自発性であり、当然オムロンらしさも意識しています。福祉・教育・科学・文化芸術など幅広い分野で、自身の向上や、次代の創造に努力を惜しまない人びとへの支援と地域への密着性が、そのベースになっています。

'90年、多彩に芸術・文化を支援

1990年の春「クレアティヴィタリア」に協賛。約1か月にわたって、東京・汐留で開催された同展は、イタリア式生活デザイン体験ミュージアムで、イタリアの生活用品を、巨大な一軒の家に満たして紹介したイベントです。生活を楽しみ、遊び心も加えて産み出されたイタリアデザインに13万人の入場者がありました。この年の夏7月は、創作芸術「御室仁和寺夏調べ—— SUPER、SESSION 成就」を開催。藤舎名生の横笛を軸に、日野皓正のトランペット、中村雁治郎の創作舞踊が優雅にクロスオーバーし、オムロン発祥の地・御室仁和寺の宵をかざりました。

また一方では、ジャンヌ・モローの「ゼリンヌの物語」日本公演に協賛しました。

継続しているメセナ活動として、'88年から毎月1回一般市民を対象に、政治・経済・文化など、さまざまな方から味わい深いお話をきく、「オムロン京都文化フォーラム」。'89年からは毎年東京で人間の可能性を探ってゆく「朝日ヒューマンルネッサンスフォーラム」に協賛しています。これからも質の高い文化支援を行っていきます。

コニカ株式会社

Konica Corporation

芸術文化支援のパイオニアとして

コニカの企業文化活動は、明治・大正の時代にまで遡ります。そのひとつが、1923年に設立した小西写真専門学校(現東京工芸大学)です。ここでは、映像文化を磨く学問研究の場として、多くの技術者、芸術家を育成し輩出しています。

また創業以来、日本の皇室のご日常を記録する写真撮影を承っているのもコニカです。これらは、いずれも業界のパイオニアとしての自覚と実績があつて初めて成し遂げられた成果といえましょう。

企業の基本理念は、創造がキーワードになります。“感動の創造”“信頼の創造”“価値の創造”これらを消費者に提供することを掲げ、また自らが知的野生企業、高感度企業、人間共感企業になる努力を続けています。

大英博物館・日本ギャラリーへの寄付

小西六から社名変更を含むCI計画をしていた1985年、ロンドンの大英博物館から日本ギャラリー建設の意向を受けたのが、この支援のきっかけです。社長の決断による約2億円の寄付は、他社の追随するところとなり、火つけ役になったといえます。1990年4月大英博物館では先陣を切ったことへの感謝と友好の意を末長く表わす証しとして、コニカギャラリーと名付けた一面を誕生させています。

この支援の他、コニカのメセナ活動の範中では「(財)コニカ橋保善会」を1966年に設立。創業者の遺志を後世に継承する機関で、写真に関する学校や研究者を対象に、毎年奨学金を出しています。また、新宿駅東口の「コニカプラザ」は、フォトギャラリーをはじめ、さまざまなイベント広場です。ここでも、コニカプラザ奨励賞、アーティスト・プライズを設け、作品発表の場としても、若手・新進の制作活動を支援しています。

また1986年から協賛しているヨーロッパ「歌舞伎公演」では1990年に“東京一パリ友好都市記念事業”で協賛しました。

日米の学生を対象に、夏休みの研修旅行を提供している「ユースサミット制度」の実施も、グローバルな企業文化の一面です。

新日本製鐵株式会社

Nippon Steel Corporation

若手クラシック演奏家の支援を

“若手クラシック演奏家にチャンス”。新日本製鐵は、物の豊かさと同時に文化の発展が望まれるわが国にあって“日常生活に潤いと新鮮な感動を与えてくれる音楽の役割は、いっそう貴重になってくる”との考えに基づいて、クラシック分野での支援活動を続けています。

わが国の若手アーティストは世界のトップレベルの水準にありながら、国内で演奏の機会が少ないため、海外に流出してしまうのが現状です。また、日本でコンサートを独自に開くにはお金がかかりますし、お客の入りも余り期待できません。

このような現状をふまえ、新日鉄は文化活動のひとつの柱としてクラシック音楽分野の地道な支援を行っています。

音楽賞の創設、そして35年間にわたる無料コンサートの実施

ラジオ番組「新日鉄コンサート」は、旧富士製鐵時代から35年間にわたり提供を続けている長寿番組です。クラシック音楽がいまほど身近かでなかった当時から無料公開コンサートを開催し、一般市民に広くクラシック音楽を普及してきました。

この放送35周年と新日鉄創立20周年を記念し、1990年「新日鉄音楽賞」を創設しました。これは、若手のすぐれたアーティストに贈る“フレッシュアーティスト賞”と、その年の音楽界で注目されたユニークな活動、企画などをした個人に贈られる“特別賞”の2つです。“フレッシュアーティスト賞”受賞者は、年内に新日本フィルハーモニー交響楽団と共演の機会が与えられ、“特別賞”はアーティストに限らず、評論家、プロデューサー、演出家、調律師など、ジャンルを問わず広い視野から選考。1990年には、フレッシュアーティスト賞をヴァイオリンの諏訪内晶子さん、特別賞をソプラノの松本美和子さんが受賞しています。なお、賞の創設と共に「新日鉄コンサート」のなかの若手演奏家のリサイタルシリーズ“プロミシングアーティストシリーズ”を年7回にし、よりいっそう若手の発表の場を増やしています。

セイコーエプソン株式会社

Seiko Epson Corporation

グローバルな視点で文化芸術の支援を

「全世界のそれぞれの地域において信頼される良い会社であり続ける」これが、セイコーエプソンの経営理念で、この基本に基づいて地域貢献活動を展開しています。たとえば、世界同時「コントラクト・ブリッジコンテスト」の支援では、その姿勢がパリ市長賞という評価を受けました。またエプソン・オーストラリアは、1987年から、「シドニー・シンフォニー・オーケストラ」の支援を続けています。エプソン・ホンコンでは、科学技術の発展など「地域貢献のための基金」も設立しています。

このように、金、人、物、スペース、情報、ノウハウなどのジャンルで、セイコーエプソンとしていちばん適切な貢献をしていく。つねに地域貢献、芸術文化への支援を念頭に、試行錯誤をしながら独自の“メセナ”を定義し、方向を模索、一步一步努力を重ねているのがエプソンです。

サイトウ・キネン・オーケストラとその支援方法

「サイトウ・キネン・オーケストラ」の結成は、偉大なチェリストであり、桐朋学園創設者の一人であった、故斎藤秀雄教授の10周年忌に、その教え子たちが、追悼コンサートを行ったのがきっかけでした。その後、桐朋学園一期生の小澤征爾氏などを指揮者に、1987年、1989年、1990年とヨーロッパで公演。日本のオーケストラとしては、初めて伝統のザルツブルグ音楽祭に招かれる荣誉に輝いています。

セイコーエプソンでは、このオーケストラを1989年から支援。当時の中村社長は浅からぬご縁のあった小澤氏より持ち込まれたこのオーケストラの趣旨と精神に共感すると共に「このオーケストラが世界に羽ばたく支援をしよう」と決断をくださったのです。いわゆる冠コンサートではなく、サイレントスポンサーでいこうという決断もその時に決まっています。海外公演では、直接オーケストラの実行委員会と密な連絡をとり、また公演の舞台になるヨーロッパでは現地法人と協力。まさに手づくりのメセナという独自のジャンルを確立しています。

トヨタ自動車株式会社

Toyota Motor Corporation

経済と文化のバランスある地域発展のために

消費されるだけのフローの文化支援からストックの文化支援へ。プロセス重視型と本番重視型の2つの支援スタイルを確立。そして、トヨタの全国販売ネットワークを活用した活動の推進などなど。地域文化の向上をめざし、各地のアマチュアオーケストラなど、市民文化の支援活動を展開しているのがトヨタです。

活動の内容は、アマチュアオーケストラや地域文化のニーズを把握し、そのニーズに対応した支援プログラムを展開していることです。

アマチュアオーケストラへの積極的な支援活動

「トヨタ コミュニティ コンサート」。これは、アマチュア最大の課題となっている財政難や指導者不足に対応するため、トヨタ自動車(株)と全国のトヨタ販売店グループが、各地のアマチュアオーケストラを支援し、1981年から開催。財政面および準備、運営、本番の舞台裏まで支援するコンサートです。1991年からは指揮者を通常より長く派遣して指導してもらう、またパート練習ができるようにトレーナーを派遣するなど、実力アップを目指すオーケストラ向けに方式を充実させました。

「トヨタ青少年ミュージックキャンプ」は、地域文化の将来の担い手であるアマチュアオーケストラの青少年メンバー約200名を全国から募集し、3泊4日の研修を1985年から毎年開催。世界8カ国から青少年と指導者を招へいし、合同練習を行うとともに、今後の国際交流のありかたについても協議しています。また、「トヨタミュージック ライブラリー」では、市民オーケストラの悩みのひとつであるオーケストラ用楽譜の入手を手助けするため、1986年、ライブラリー(157曲)をトヨタ自動車東京本社内に設置。全国のオーケストラに無料で貸し出しを行っています。

また東京では、「ステーション リゾート コンサート」を開催。忙しく働くビジネスマンやOLから広く一般公募し“丸の内交響楽団”を結成。本社ビル内で練習をし、東京駅でニューヨーク・シンフォニック・アンサンブルと合同演奏会を行っています。

林原グループ

(社団法人、林原共済会・財団法人林原美術館)

Hayashibara Group

伝統芸術や文化の若い伝承者を支持して

林原グループの文化活動は、フォーラム、講演会などを開催する(社)林原共済会と、(財)林原美術館を中心として行っております。

林原共済会が1991年2月に設立した「国際芸術文化振興奨学金制度」は、国内外の優れた伝統芸術や文化を継承する若手の芸術家や研究者を対象に奨学金を支給するほか、さまざまな芸術・文化活動の支援を行うものです。この制度の最初の対象者としては、中国伝統音楽の伝承者で、その技術の研究のために現在日本に留学中で、映画「ラストエンペラー」のテーマ曲を演奏された陶敬韻女士をはじめとする5名の方々を選定し、さまざまな支援活動を行っています。

この制度は、将来的にはさらに多様な分野の多くの対象者を検討していく方針です。広く世界に目を向けて、長期的な展望に立ち、現在消え去ろうとしている貴重な文化・芸術の保存・振興に寄与したいと考えています。

地域社会の学術・文化向上にも寄与

1985年に組織された「林原フォーラム」は、科学、文学、社会、哲学など広い分野にわたる国際会議や講演会の企画・実施に取り組んでおります。1990年8月には、フィールズ賞受賞者の広中平祐博士を迎え、国際会議を開催するなど、ノーベル賞クラスの研究者を国内外から招き、主として岡山で開催しております。

「林原美術館」は、国宝・重文クラスの刀剣、能装束をはじめとする美術品を多数所蔵し、ほぼ毎月テーマごとに展示を行うほか、国立博物館などのご協力をいただき、年に1～2回特別展を開催し、所蔵品以外の名品も数多く展示しています。

この他、映画「黒い雨」の制作協力、また日本の伝統技術を伝える独自の映画制作や、1990年には備前刀の再興へ、元・国立博物館の刀剣室長の加島進氏を迎え、「刀剣研究室」を設立、1991年10月には地元刀工を養成する刀剣鍛錬所も建設いたしました。林原では、今後もこのような地元に着目したたゆまぬ文化活動も積極的に展開していきたいと考えています。

モービル石油株式会社

Mobil Sekiyu Kabushiki Kaisha

文化支援に4つの原則を持って

モービル石油は、文化活動を行っていくうえで、社独自の4つの原則をつねに持って
ており、この基本に沿って支援を行います。

それは、“陽が当たらず他社があまり援助していない分野を支援する”ことです。そ
して“一時的な支援ではなく、継続性を重視する”ことです。また“自社のメリット
利益と結びつけず、見返りを求めない支援”をします。これらの実践には“手づくり
のプログラムで、社員・役員が実行に参画”しています。

この4つのポイントをふまえながら、“良き企業市民”として、社会に貢献したいと
いう企業理念に基づいて、モービル石油の文化活動が実施されています。その代表
が「モービル・ライブ・サウンズ」です。

モービル・ライブ・サウンズは無料コンサート

地理的な条件のために、ナマの音楽を鑑賞する機会の極めて少ない地域の人びと
に、一流のアーティストによる音楽を無料で提供するプログラムです。1986年から、
年間6回の公演を継続しています。人口5,000~10,000人の地域を開催地の対象に
し、運営はモービル石油と地元の人々による手づくりコンサート。'90年度は、クラシ
ック音楽に力を入れはじめ、年6回公演のうち、5回がクラシックの演奏です。

また「モービル児童文化賞」は、1966年に創設。わが国の児童文化の発展・向上に貢献
する個人または団体をたたえる賞です。1971年に創設された「モービル音楽賞」は、日
本の音楽文化の発展・向上に貢献する個人または団体をたたえる賞で、邦楽と洋楽
の両部門があります。1989年からは、日本を代表するすぐれた若い音楽家をたたえ
励ますために、洋楽部門に奨励賞を設け、本賞のトロフィーと副賞を贈っています。

1992

インパクトがあるとか 貢献度が高いとか
オリジナリティがあるとか そして、継続性があるとか。さあ、〈第2回のメセナ大賞1992〉へ 主張をもった芸術文化への支援活動が、期待されています、しています。

期待しています。

期待されています。

●募集内容/企業または企業財団によって行われたメセナ活動・事業(企業、企業財団が顕彰の対象です)●対象期間/1991年度内(1991年4月から1992年3月まで)の活動・事業に対して●応募/自薦、他薦を問いません●表彰/審査委員会によって、メセナ賞を選考。大賞と特別賞には、トロフィーを贈呈します。●応募要項の詳細は、1992年3月に企業メセナ協議会で配布の予定です。

大賞の対象募集

メセナ大賞1991 応募企業一覧

- **アイカ工業(株)**
「アイカ現代建築セミナー」の協賛
- **(株)アオキインターナショナル**
「第9回アオキハーモニーコンサート」の開催
- **(株)曙**
「あけぼのコンサートハウス」の協賛
- **(株)あさば旅館滄翠閣**
「あさば四季の名流撰」の運営
- **朝日生命保険相**
「新都心プロムナードギャラリー」の開設及び運営
- **アサヒビール(株)**
下町文化・川の手文化の支援
- **朝日放送(株)**
「ABCギャラリー」の運営ほか
- **(株)あしぎん暮らしと経営の相談センター**
「第12回あしぎん婦人夏期大学講座」の主催
- **アドブレン(株)**
「KYOTO VISITOR'S GUIDE」の発行
- **財アフィニス文化財団**
オーケストラの助成ほか
- **(株)アマダ**
「AMADA MUSIC CLUB」の主催
- **財石川文化事業財団**
「路傍の石文学賞」ほかの顕彰活動
- **(株)石の店 山田**
「ストーンギャラリー」の運営
- **(株)伊勢丹**
「ジャズバー・ジョーンズ展」等の開催ほか
- **(株)イトーキ**
全国のショールームでの文化活動
- **(株)I N A X**
建築・現代美術等の展覧会開催、出版ほか
- **(株)井六園**
「昭和新版 茶壺道中」の支援
- **岩谷産業(株)**
「ふるさと交響楽シリーズ」ほかN響への協賛
- **(株)宇佐美組**
「ハイティ・リチャウアー チェロ・リサイタル」の主催
- **エーザイ(株)**
「くすり博物館」の運営ほか
- **財エー・ビー・シー音楽振興財団**
「ザ・シンフォニーホール国際音楽賞」の顕彰ほか
- **エッソ石油(株)**
「日本ナショナル・ミュージック・キャンプ」の協賛
- **(株)岡設計**
「史跡都市・平泉町の歴史文化の蘇生と町づくり」の推進
- **財岡田文化財団**
三重県内における文化振興事業の推進
- **オムロン(株)**
「クレアティヴィタリア」の特別協賛ほか
- **オリエントコーポレーション(株)**
「古代オリエント博物館」の支援ほか
- **財鹿島美術財団**
美術振興を目的とする助成・援助活動
- **鐘紡(株)**
「第3回ピアノデュオフェスティバル」の協賛ほか
- **(株)川島文化事業団**
染織文化を通じた社会貢献活動
- **勸角証券(株)**
「ラッコの感謝DAY かんかくシアター」の開催
- **(株)煥乎堂**
「第26回群馬県児童画作品コンクール展」の主催ほか
- **(株)紀伊国屋書店**
「紀伊国屋ホール」の運営ほか
- **キャンノン販売(株)**
「日本文化デザイン会議'90豊田」の協賛
- **キューピー(株)**
「農協料理教室」の協賛
- **京都中央信用金庫**
「京都音楽賞」の顕彰ほか
- **麒麟ビール(株)**
「麒麟プラザ大阪」の運営
- **(株)クボタ**
「シルクロード管弦楽作曲コンクール」の協賛
- **(株)クリオ・ピズ**
「茶の湯」ほかの伝統文化支援
- **クレディ・スイス・ジャパン**
「スイスアルプス博物館」の運営ほか
- **小泉産業(株)**
「コイズミ国際学生照明デザインコンペ」の主催
- **コニカ(株)**
「大英博物館 日本ギャラリー」の設立資金援助ほか
- **三機工業(株)**
P/V・タラフマラ公演「パレード」の協賛
- **財三銀ふるさと文化財団**
三重県内の文化振興事業の推進
- **サンデン(株)**
「サンデン室内楽の夕べ」の主催
- **サントリー(株)**
「サントリー・オールド1万人の[第九]コンサート」の協賛ほか
- **財サントリー文化財団**
「サントリー地域文化賞」の顕彰事業
- **(株)サンモトヤマ**
サン・ジヨバンニ洗礼堂「天国への扉」レプリカの献呈
- **山陽印刷(株)**
アートサポート、「社屋内ギャラリー」の開設ほか
- **(株)三陽商會**
「サンヨーホールコンサート」の主催
- **三洋信販(株)**
「三洋信販トワイライトコンサート」の開催ほか
- **三和酒類(株)**
「季刊「iichiko」」の出版「iichiko文化賞」の創設ほか
- **(株)資生堂**
芸術文化全般に亘るメセナ活動
- **芝興産(株)**
「シアメリカンボーイクワイヤー」の日本公演の協賛
- **シヤチハタ工業(株)**
「第1回ジャパン・アート・スカラシップ」の協賛

- **新日本製鐵(株)**
「新日鉄音楽賞」の創設ほか
- **財末永文化振興財団**
オーケストラ練習場の提供
- **(株)すかいらーく**
「財東京交響楽団」への資金援助
- **住友商事(株)**
「エトルリア文明展」の協賛ほか
- **住友生命保険(株)**
「いずみホール」の建設及び運営ほか
- **セイコーエプソン(株)**
「サイトウ・キネン・オーケストラ」の欧州公演協賛
- **セイコー電子工業(株)**
「エスアイ・コンサート90ウィーン弦楽四重奏団」の協賛ほか
- **(株)西友**
「ソビエト・バレエ・インスティテュート」の運営ほか
- **(株)西洋環境開発**
「MUSIC TODAY '90—今日の音楽・18」の支援ほか
- **ソニー(株)**
「東京フィルハーモニー交響楽団」への人的物的援助
- **財ソニー音楽芸術振興会**
「全日本大学オーケストラ大会」の主催
- **南タイヨー・ムジーク・ジャパン**
「日本ピアノ史家協会」への支援
- **(株)高島屋**
「公益信託 タカシマヤ文化基金」の創設
- **(株)竹中工務店**
展示会「TAKENAKA DESIGN」の主催
- **田崎真珠(株)**
「近松座歌舞伎第9回定期公演」の協賛
- **多摩中央信用金庫**
「たましん地域文化財団」の設立ほか
- **(株)淡交社**
「明日への茶道美術公募展」の主催
- **第一生命保険(株)**
「東京ソリステンコンサート」の協賛ほか
- **第一不動産グループ**
「花と緑・日本画美術館」の制作・公開
- **(株)第四銀行**
「ベートーヴェン第九演奏会」の協賛
- **(株)ダイヤモンドリゾート**
「創業30周年記念美術展」の開催ほか
- **中部電力(株)**
中部の地域文化振興への支援活動
- **T O A (株)**
多目的ホール「ジーベック」の運営
- **(株)電通**
「電通ギャラリー」の運営
- **(株)東海銀行**
「東海シンフォニア」の開催
- **東海旅客鉄道(株)**
劇団「夢の遊眠社」公演の協賛
- **東海海上火災保険(株)**
「トウキョウ マリン ギャラリー」の運営
- **東京ガス(株)**
「東京ガス・ポケットコンサート」の主催ほか
- **東陶機器(株)**
「ギャラリー・間」の運営
- **(株)東武百貨店／東武鉄道(株)ほか**
「春のクラシック・クライマックス・コンサート」の協賛
- **特種製紙(株)**
「宴と旅のうつわ弁当箱展」の開催と出版事業
- **トックベアリング(株)**
「新星日本交響楽団」への支援ほか
- **凸版印刷(株)**
「読書感想画中央コンクール」の協賛ほか
- **トヨタ自動車(株)**
アマチュアオーケストラの支援活動ほか
- **同和火災海上保険(株)**
「松尾塾の子供歌舞伎」の東京、ロサンゼルス公演協賛
- **南海電気鉄道(株)**
「南海コンサート」の協賛
- **(株)ニコン**
写真ギャラリー「ニコン サロン」の運営
- **西日本鉄道(株)**
「ASIA COMPLEX」の主催
- **財日航財団**
「世界こどもハイコンテスト'90」の主催ほか
- **日興証券(株)**
「牧阿佐美・バレエ団」の協賛
- **日産自動車(株)**
「第7回ニッサン童話と絵本のグランプリ」の協賛ほか
- **日産労連**
こどもたちに夢を—クリスマス・チャリティー公演—の開催
- **日本アイ・ビー・エム(株)**
「第8回上野の森美術館大賞展」の協賛ほか
- **日本オリーブ(株)**
「第7回 JAPAN 牛窓国際芸術祭」の協賛
- **(株)日本経済新聞社**
「ウィリアム・ブレイク展」の主催
- **日本興業(株)**
第2回ニッコーオータムコンサート」の主催
- **財日本交通文化協会**
「瀧富士美術賞」の顕彰
- **日本信販(株)**
英国祭(UK90)参加の演劇2作品の協賛
- **日本新薬(株)**
「文化映画(京)シリーズ」の企画
- **日本製麻(株)**
「アート・スペース砺波」の支援
- **日本生命保険(株)**
ニッセイ名作劇場「王様の秘密」の協賛
- **財日本テレビ放送網文化事業団**
「第21回世界児童画展」の主催
- **日本電信電話(株)**
「電話網の见えないミュージアム」の協賛ほか
- **(株)日本美術出版**
国際美術見本市「第1回T I A S」の運営ほか

- **ネッスル**
「ゴールドブレンドコンサート」の提供
- **(株)能力開発センター**
「ジュニアサミットキャンプ」の開催
- **野村證券(株)/財野村国際文化財団**
「パシフィック・ミュージック・フェスティバル」の協賛
- **野村不動産(株)**
「横浜ガレリア」の一般開放とアート作品の展示、公開
- **(株)ノリタケカンパニーリミテド**
「日本フィルハーモニー交響楽団定期演奏会」の後援
- **ハウス食品工業(株)**
「ファミリーミュージカル」の協賛ほか
- **(株)長谷工コーポレーション**
「HASEKO CLASSIC SPECIAL」の協賛
- **林原グループ**
「国際芸術・文化振興奨学金制度」の創設ほか
- **ハレルヤ製菓(株)**
「第25回謝恩文化講演会」の主催
- **東日本旅客鉄道(株)**
「とうきょうエキコン」の主催ほか
- **ヒロセ電機(株)**
「日韓棋界若手No 1の対決五番勝負」の協賛
- **(株)福岡シティ銀行/財福岡文化財団**
ミュージカル「キャッツ」の福岡公演協賛
- **(株)福武書店**
「国吉康雄美術館」の開設ほか
- **富士火災海上保険(株)**
能と中世ルネッサンス音楽「秘花」の協賛
- **(株)フジカワ画廊**
美術館主催の展覧会への協力及び寄付
- **(株)富士銀行**
「NINAGAWA マクベス」米・加公演の協賛ほか
- **フジサンケイグループ**
「ハーブ・アンサンブル国際フェスティバル箱根大会」の主催
- **富士ゼロックス(株)**
「松山バレエ団のアメリカ公演」の協賛
- **(株)フジタ**
「第4回ビデオポエム コンテスト=V I P O '90」の協賛
- **富士通(株)**
「つくばコンサート」の協賛
- **扶桑薬品工業(株)**
「ウィーンの春 ニューイヤー・ガラコンサート」の協賛
- **(株)ブロードウェイギャラリー**
「第1回フィラン大賞展」の主催
- **(株)プレスオールターナティブ**
コンサート「キャリヤコ・コーラスに舞台を！」への協力
- **(有)平和橋自動車教習所**
「ジェイブ美術館」の設立及び運営
- **(株)ベンカン**
「掌の文化サロン」における文化活動
- **財ポーラ伝統文化振興財団**
わが国の伝統文化の支援活動
- **(株)マール社**
「上海工芸美術研究所」への資料図書寄付
- **(株)毎日放送**
マヤ遺跡「ヤシユチラン」の発掘援助など
- **財真柄教育振興財団**
読書活動の普及及び読書推進活動
- **三浦印刷(株)**
「第2回ヤングカラーフォトコンテスト」の主催
- **三井広報委員会**
「クローズアップ・オブ・ジャパン トロント1990」の協賛
- **三井不動産(株)**
「劇団四季」の国産ミュージカルの支援
- **三菱広報委員会**
「アジアの子供達の絵日記展」の主催
- **三菱信託銀行(株)**
三菱信託芸術文化財団による音楽助成事業
- **三菱マテリア(株)**
「ハイドン交響曲全曲演奏会」の協賛
- **ミノルタカメラ(株)**
「ワールド・リーダーシップ・コンgres 日本代表選考会」の主催
- **明治生命保険(株)**
ミュージカル「アニー」の協賛ほか
- **モービル石油(株)**
「モービル・ライブ・サウンズ」の提供
- **安田火災海上保険(株)**
「宮廷の装束展」の協賛
- **財安田火災美術財団**
「安田火災美術財団奨励賞展」の主催
- **山田印刷(株)**
「ヤマダ・コミュニティホール」の運営ほか
- **財やまなみ文化基金**
山梨県内の芸術・文化活動への援助
- **山之内製菓(株)**
「横浜プリント展」の米国巡回展の協賛
- **(株)雄松堂書店**
「Yusyodo Forum '90」の主催
- **(株)リブラン**
「リブラン創作童話」の募集活動ほか
- **琉球石油(株)**
「琉石美術賞(公募展)」の創設
- **(株)ワコール**
実験的芸術作品「新機械劇場」の自主プロデュース
- **(株)百五銀行、ジャスコ(株)ほか 7 社**
三重県文化振興基金への援助・協力
- **味の素(株)、(株)資生堂ほか 5 社**
「世界らん展日本大賞 '91」の協賛
- **カルビー(株)ほか 23 社**
新作能「鷹井」ほか橋の会への支援活動
- **味の素(株)/第一生命保険(株)**
ミュージカル「ユー・Ah / マイ Sun 社員」の協賛
- **日本アイ・ビー・エム(株)/日本生命保険(株)**
「日本の絵本賞」の協賛
- **(株)富士プロジェクト**
(財)松尾芸能振興会の支援

- | | | | |
|----------------------|-----------------|---------------------------|---------------------|
| 1 (株)I & S | 46 (株)資生堂 | 91 東海旅客鉄道(株) | 135 ファイザー(株) |
| 2 (株)朝日広告社 | 47 清水建設(株) | 92 (株)東急エージェンシー | 136 (株)富士銀行 |
| 3 (株)朝日新聞社 | 48 シヤチハタ工業(株) | 93 東急建設(株) | 137 富士ゼロックス(株) |
| 4 朝日生命保険(株) | 49 (株)集英社 | 94 (株)東急百貨店 | 138 (株)フジタ |
| 5 (株)旭通通信社 | 50 (株)主婦と生活社 | 95 東急不動産(株) | 139 富士通(株) |
| 6 アサヒビール(株) | 51 (株)主婦の友社 | 96 東京ガス(株) | 140 (株)フジテレビジョン |
| 7 朝日放送(株) | 52 (株)小学館 | 97 東京急行電鉄(株) | 141 (株)富士プロジェクト |
| 8 味の素(株) | 53 松竹(株) | 98 東京電力(株) | 142 (株)婦人画報社 |
| 9 (株)アツド | 54 昭和電工(株) | 99 (株)東京ドーム | 143 (株)プリチストン |
| 10 イオングループ | 55 (株)シライシ画廊 | 100 (株)東京放送 | 144 (株)プロードウェイギャラリー |
| 11 イム力(株) | 56 (株)新潮社 | 101 (株)十勝毎日新聞社 | 145 (株)文藝春秋 |
| 12 岩尾磁器工業(株) | 57 新日本製鐵(株) | 102 凸版印刷(株) | 146 (有)平和橋自動車教習所 |
| 13 インターアート(株) | 58 (株)ジェーワン | 103 飛鳥建設(株) | 147 (株)ホワイトビアー |
| 14 (株)ウスイ・コミュニケーションズ | 59 十條製紙(株) | 104 トヨタ自動車(株) | 148 本州製紙(株) |
| 15 (株)エイ・アイ・エイ | 60 住友海上火災保険(株) | 105 同和火災海上保険(株) | 149 本田技研工業(株) |
| 16 衛星デジタル音楽放送(株) | 61 (株)住友銀行 | 106 西日本旅客鉄道(株) | 150 (株)毎日コミュニケーションズ |
| 17 (株)エフエム京都 | 62 住友生命保険(株) | 107 (株)ニチレイ | 151 (株)毎日新聞社 |
| 18 (株)エフエム東京 | 63 セイコーエプソン(株) | 108 日産自動車(株) | 152 (株)マガジンハウス |
| 19 エルメス ジャパン(株) | 64 (株)世界文化社 | 109 日東興業(株) | 153 松下電器産業(株) |
| 20 王子製紙(株) | 65 積水化学工業(株) | 110 (株)ニッポン放送 | 154 (株)マルチサービス |
| 21 (有)大庭音楽事務所 | 66 セコム(株) | 111 日本アイ・ピー・エム(株) | 155 丸紅(株) |
| 22 オムロン(株) | 67 セノングループ | 112 日本アムウェイ(株) | 156 ミサワホーム(株) |
| 23 (株)オリエントコーポレーション | 68 セントラル警備保障(株) | 113 日本火災海上保険(株) | 157 三井観光開発(株) |
| 24 オリックス(株) | 69 セントラルリース(株) | 114 (株)日本経済新聞社 | 158 三井不動産(株) |
| 25 (株)オンワード樺山 | 70 全国朝日放送(株) | 115 (株)日本コーポレート
アート研究所 | 159 (株)三越 |
| 26 花王(株) | 71 全日本空輸(株) | 116 日本航空(株) | 160 (株)三菱銀行 |
| 27 鹿島建設(株) | 72 (株)草土舎 | 117 (株)日本交通公社 | 161 三菱信託銀行(株) |
| 28 鐘紡(株) | 73 ソニー(株) | 118 日本酸素(株) | 162 三菱重工業(株) |
| 29 (株)鎌倉画廊 | 74 大正製薬(株) | 119 日本信販(株) | 163 メルシャン(株) |
| 30 カルティエ ジャパン(株) | 75 (株)太陽神戸三井銀行 | 120 日本生命保険(株) | 164 (株)ヤギコーポレーション |
| 31 勤角証券(株) | 76 武田薬品工業(株) | 121 日本たばこ産業(株) | 165 安田火災海上保険(株) |
| 32 キヤノン(株) | 77 (株)竹中工務店 | 122 日本たばこ産業(株) | 166 安田生命保険(株) |
| 33 (株)求龍堂 | 78 (株)淡交社 | 122 日本テレビ放送網(株) | 167 山武ハネウエル(株) |
| 34 京セラ(株) | 79 (株)第一勧業銀行 | 123 日本電気(株) | 168 ヤマト運輸(株) |
| 35 (株)ギャラリーきく | 80 第一企画(株) | 124 日本電信電話(株) | 169 ヤマハ(株) |
| 36 クレディ・スイス・ジャパン | 81 第一生命保険(株) | 125 (株)日本フランコニー | 170 (株)ユーマック |
| 37 (株)京王プラザホテル | 82 ダイカンホーム(株) | 126 (株)能力開発センター | 171 雪印乳業(株) |
| 38 (株)現代彫刻センター | 83 (株)大広 | 127 野村證券(株) | 172 (株)読売エージェンシー |
| 39 (株)光文社 | 84 大東京火災海上保険(株) | 128 (株)博報堂 | 173 (株)読売広告社 |
| 40 コンプリホテルジャパン(株) | 85 大日本印刷(株) | 129 服部物産合資会社 | 174 (株)読売新聞社 |
| 41 (株)佐谷画廊 | 86 (有)大和工務店 | 130 (株)ハトヤ観光 | 175 (株)リクルート |
| 42 (株)産業経済新聞社 | 87 大和證券(株) | 131 パイオニア(株) | 176 リコー三愛グループ三愛会 |
| 43 サントリー(株) | 88 秩父セメント(株) | 132 (株)パル工房 | 177 ルイ・ヴィトン ジャパン(株) |
| 44 (株)三陽商會 | 89 (株)テレビ東京 | 133 (株)美研 | 178 (株)レナウン |
| 45 三洋電機(株) | 90 (株)電通 | 134 びあ(株) | 179 (株)ワコール |

企業メセナ協議会準会員リスト

- | | | | |
|-----------------|------------------|---------------------------|--------------------|
| 1 A P A 芸術振興協会 | 9 (株)劇団影ぼうし | 17 全日産・一般業種労働組合連合会 | 25 (社)日本演奏連盟 |
| 2 (株)岡設計 | 10 劇団四季 | 18 中央区文化・国際交流振興協会 | 26 (社)日本芸能実演家団体協議会 |
| 3 神奈川県庁 | 11 (株)劇団飛行船 | 19 地人会 | 27 (財)日本交通文化協会 |
| 4 (学)河合塾生涯教育開発室 | 12 (株)産業労働調査所 | 20 東京パレエ劇場/パレエ団 | 28 (学)日本放送協会学園 |
| 5 京都商工会議所 | 13 (株)三和総合研究所 | 21 Today's Art Foundation | 29 (株)フジテレビギャラリー |
| 6 (財)京都服飾文化研究財団 | 14 (株)シニー・ディー・アイ | 22 (株)栃木生活文化総研 | 30 矢島邦茂法律事務所 |
| 7 熊本県庁 | 15 (株)社会学研究所 | 23 (株)トライビジョン | 31 (財)余暇開発センター |
| 8 芸術文化交流の会 | 16 昭和音楽大学 | 24 (株)七彩 | 32 リュース(株) |

役員（1991年12月現在・五十音順）

会 長 鈴木 治 雄 昭和電工株式会社名誉会長

副 会 長 佐 治 敬 三 サントリー株式会社社会長
塚 本 幸 一 株式会社ワコール会長
堤 清 二 株式会社セノコーポレーション会長
西 尾 信 一 第一生命保険相互会社会長

理 事 長 福 原 義 春 株式会社資生堂社長

理 事 天 谷 直 弘 株式会社電通総研研究所長
石 川 六 郎 鹿島建設株式会社社会長
稲 盛 和 夫 京セラ株式会社社会長
大 賀 典 雄 ソニー株式会社社長
後 藤 康 男 安田火災海上保険株式会社社長
椎 名 武 雄 日本アイ・ピー・エム株式会社社長
柴 田 俊 治 朝日放送株式会社専務取締役
関 澤 義 富士通株式会社社長
関 本 忠 弘 日本電気株式会社社長
竹 中 統 一 株式会社竹中工務店社長
豊 田 章 一 郎 トヨタ自動車株式会社社長
永 井 道 雄 (特別顧問) 財団法人国際文化会館理事長
中 江 利 忠 株式会社朝日新聞社社長
平 岩 外 四 東京電力株式会社社会長
松 沢 卓 二 株式会社富士銀行相談役
松 橋 功 株式会社日本交通公社社長
三 沢 千 代 治 ミサワホーム株式会社社長
山 口 開 生 日本電信電話株式会社社会長

監 事 中 村 一 郎 株式会社第一勧業銀行会長
吉 野 照 蔵 清水建設株式会社社会長

専務理事 根本長兵衛 共立女子大学教授



Association for Corporate Support of the Arts

大賞部会メンバー

部会長/奥尾幸一(朝日新聞社 取締役 文化企画担当)

メンバー/大坂一義(読売新聞社 広告局参与)

川崎正蔵(朝日広告社 営業第7局長)

長 裕(テレビ東京 営業局長)

中島和枝(日本アイ・ビー・エム 企業総務・貢献活動課長)

安田憲二(博報堂 文化事業局 プロデュースディレクター)

1991年12月16日発行・社団法人企業メセナ協議会/企画制作・博報堂

社団法人 企業メセナ協議会

〒100 東京都千代田区有楽町2丁目5番1号 有楽町マリオン13階
Tel.03-3213-3397 Fax.03-3215-6222